

愛知県沖浮体式洋上風力実証事業における風況・気象海象観測機器回収作業順延のお知らせ

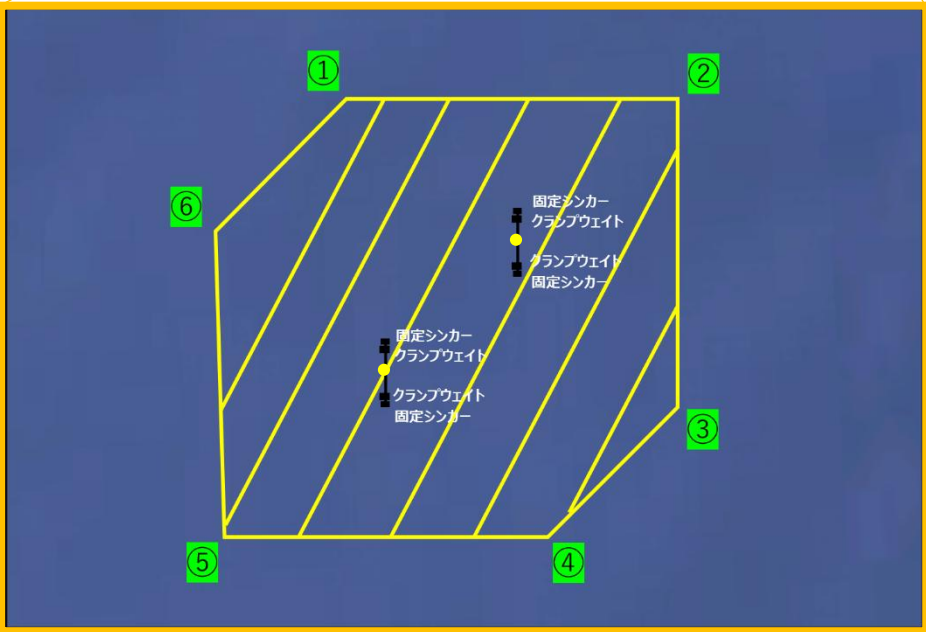
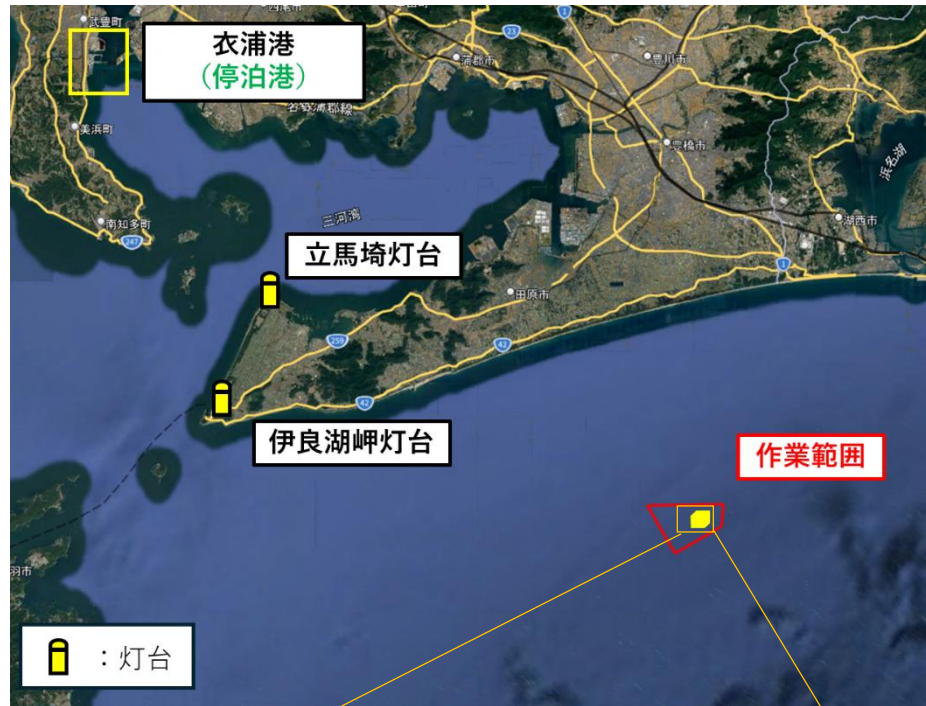
2026 年 7 月に愛知県沖において風況・気象海象観測を実施しているフローティングライダーシステム（以下、「FLS」）2 基の回収作業を以下のとおり「2026 年 8 月 1 日から 2026 年 8 月 13 日」で実施する旨を周知しておりましたが、台風接近に伴う海象条件の悪化により、安全確保の観点から回収時期を順延させていただくこととお知らせいたします。関係者の皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんが、ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。なお、順延後の回収時期は 2026 年 9 月上旬を予定しておりますが、回収日程は改めて周知させていただきます。

1. 回収予定日：~~2026年8月1日（土）~~
~~（予備日：8月2日（日）～8月13日（木））~~
→ 2026 年 9 月上旬（予定）

作業スケジュール（予定）

項目/ スケジュール	5 : 00 ～ 10 : 00	10 : 00 ～ 11 : 00	11 : 00 ～ 12 : 00	12 : 00 ～ 13 : 00	13 : 00 ～ 18 : 00
移動 (5時頃出航)	→				
作業 FLS1基目回収		→ 作業約1時間			
移動			→		
作業 FLS2基目回収				→ 作業約1時間	
移動 (18時頃帰港)					→
		現地で作業時間約3時間を予定			

2. 作業範囲



図－1. 作業範囲

3. 作業範囲の座標

〈世界測地系〉			〈日本測地系〉		
	緯度	経度		緯度	経度
①	34°30'54.53"N	137°25'02.80"E	①	34°30'42.61"N	137°25'13.56"E
②	34°30'54.14"N	137°25'27.11"E	②	34°30'42.22"N	137°25'37.87"E
③	34°30'35.37"N	137°25'26.58"E	③	34°30'23.45"N	137°25'37.34"E
④	34°30'27.54"N	137°25'16.65"E	④	34°30'15.62"N	137°25'27.41"E
⑤	34°30'28.02"N	137°24'52.57"E	⑤	34°30'16.10"N	137°25'03.33"E
⑥	34°30'46.77"N	137°24'53.12"E	⑥	34°30'34.85"N	137°25'03.88"E

注) 表中の①～⑥の位置は図－1を参照願います。

4. 設備概要

	係留索概要	長さ
①	28mm スタッドリンク係留チェーン	10m
②	30mm 2重編み合成繊維ロープ	95m
③	50mm スタッドリンク係留チェーン	30m
④	76mm スタッドリンク係留チェーン	40m
⑤	50mm スタッドリンク係留チェーン	50m

図－2. FLS 設備概要図

5. 使用予定の船舶

FLS 回収には DPS 全旋回式起重機船「いばらき 700（700t 吊）」を使用する予定です。
また、起重機船の他に、押船（19t 相当）を 2 隻、FLS 回収作業の補助のために補助船（19t 相当）1 隻を使用する予定です。

6. 作業手順（予定）

- ① FLS を玉掛けして船上に回収。
② 1 本目の係留索の繊維ロープをウィンチに接続し、巻き上げる。もう 1 本の係留索は船舶のウィンチロープに接続して展張しておく。
③ ウィンチで繊維ロープ部分を回収後、チェーン部分をクレーンで揚重する。チェーン部分が長いので、玉掛の位置を変えながらシンカー部分まで含めて全て回収する。
④ ウィンチロープに接続していたもう 1 本の係留索をウィンチに再接続し、③を 1 本目の係留索と同様に実施する。
※上記作業を FLS 2 基分実施いたします。

7. 安全対策

- 水路通報、海の安全情報等により FLS の回収を周知します。
➢ 作業に使用する起重機船、補助船ともに AIS を搭載します。
➢ 起重機船に搭乗する作業員により周囲の監視を行います。